

他団体との協賛活動も大切にしています！ 男女平等フェスティバルでお汁粉喫茶・ECO to フェスタで活動展示

町田市消費生活センター運営協議会は、消費生活センターとしての事業に取り組むだけでなく、市の他団体との協賛活動も積極的に参加し、「暮らしに役立つ情報」の展示をしています。



お汁粉喫茶

2024年2月3日・4日に開催の第24回まちだ男女平等フェスティバルに協賛企画として3日（土）に「お汁粉喫茶」を行いました。コロナ禍で喫茶はしばらくお休みしていましたが、2019年以来の開店となりました。

町田市男女平等推進センターは、同じ市民フォーラムでお隣同士です。私たちが開催する消費生活展「まちだ暮らしフェア」には、男女平等推進センターが協賛してくださっています。

当日の朝から新豆小豆を煮て、おから団子を入れました。「**おから団子**」は、**豆腐作りの副産物おからと白玉粉で作るお団子**です。運営協議会では食品ロス削減の観点から、食物繊維や栄養も豊富な“おから”をもっと食べようと提唱しています。

豆腐作り教室では、一丁の豆腐を作ると驚く程たくさんのおからもできることを実感していただいています。団子は、おから料理としては手軽に作れます。スープに入れる、きな粉をかける、などでもおいしく、お勧めです!!



喫茶店では、お替り自由の美味しいお茶とともに提供し「ほっと一息」と、喜んでいただきました。おかげさまで11時に開店し13時過ぎには売り切れ終了を迎えました。

いつもの活動とも違った喫茶店の運営は、楽しさもいっぱいでした。

【おから団子の作り方】大きめの団子10個

- ① おから（生）100gと白玉粉100gを合わせて水（1/2カップ程）を緩くなり過ぎないように気を付けて入れながら耳たぶくらいの固さに練る
- ② 10個に丸めて茹でる。

ECO to (いーこと) フェスタで活動展示

2024年3月3日（日）にバイオエネルギーセンターで開催された第2回まちだECO to フェスタに協



賛参加しました。運営協議会は、エシカル消費を呼びかけ“ごみを減らそう”“食品ロス削減”“CO₂排出

量削減”などの行動を起こしています。

委員の一人が測り続けた暮らしから出たごみ量を例に取り上げました。



ごみ量を量るだけで常に意識するようになり、前年の85%までに減った成果を報告し、市民のみなさんも一緒に削減に向けて頑張ろうと『ごみの量るだけダイエット』を呼びかけました。

* * * *

他団体との協賛活動は、消費生活センターへ来てくださる方々とはまた違う出会いもあり、緊張もしますが、新しい喜びと学びもあります。私たちの活動を多くの市民に知っていただく機会として今後も大切にしていきたい活動です。

(文責：広報部)

相談室



給湯器の点検商法に注意

—高齢者を中心に
トラブル急増！—

突然、事業者が電話や訪問をしてガス給湯器の無料点検を勧め、点検後に高額な給湯器の交換を持ちかけるといった相談が急増しています。特に高齢者からの相談が多くなっています。

《事例1》

昨日、妻が電話で給湯器の無料点検を勧められ承諾した。消費生活センターの紹介と言われたようだ。不審なので断りたいが連絡先がわからず困っている。(60代)

《事例2》

2日前、給湯器の無料点検に行くと電話があり同意した。事業者が点検後、部品が古くバーナーの燃焼が悪い、新しい給湯器に交換したほうがいいと言うので40万円の給湯器を購入した。おかしいと思いきクリーニング・オフの通知を送付したが、その手続きだけで大丈夫だろうか。(50代)

《事例3》

いきなり訪問してきた事業者に給湯器を見せてほしいと言われ応じた。見た後に壊れていると言い、90万円の給湯器を勧めてきた。慌てて契約したが、知人に助言を受けてクリーニング・オフをした。後日、都市ガス業者に給湯器を点検してもらったところ壊れていないと言われた。(70代)

《アドバイス》

事例1は、消費生活センターは無関係であり、おそらく給湯器の勧誘を行うと思われると伝えました。連絡先が不明の場合は、来訪時にインターホン越しに断るよう伝えました。事例2は、消費生活センターから事業者に連絡をしてクリーニング・オフが成立していることを確認しました。事例3は、今後は

訪問業者を家に入れず毅然とした態度で断るよう伝えました。

無料だからと気軽に応じると、点検後に「このままでは壊れる」などと不安をあおり、給湯器の交換を強く勧められ、断ることが難しい状況に追い込まれます。市と関係があるような嘘の話をしたり、契約中のガス会社を名乗り身分を偽るなどの事例もあります。電話や訪問で無料の点検を勧められても決して応じず、きっぱりと断るようにしましょう。

都市ガス、LPガスともにガス設備には4年に1度の点検が法律で定められており費用は無料です。契約中のガス業者の法定点検と間違えないようにしましょう。事業者に交換を勧められても、その場で契約せずに、家族や信用できる人に相談しましょう。

棺内のドライアイスによる 二酸化炭素中毒

ドライアイスは、食品の保冷輸送などに使われ、氷よりも温度が低く、液体にならず食品等が濡れることがないため便利な一方、取り扱いによっては事故につながるおそれがあります。

葬儀の際、ご遺体を保冷することを目的に、棺の中にドライアイスが置かれますが、ドライアイスによる二酸化炭素中毒が疑われる死亡事故の情報が消費者庁に寄せられています。

▲消費者へのアドバイス

葬儀の際、ご遺体を安置する環境では

- 棺の中に顔を入れないようにしましょう
- 室内の換気を十分に行いましょう
- なるべく複数人で見守りましょう
- 気分が悪くなったらすぐに棺から離れましょう
- 異常があれば直ちに119番通報を！！
- 不明なことは葬儀業者に確認しましょう

国民生活センターくらしの危険 377号より

《消費生活センター 今後のイベント予定》

「気になる塩分測ってみよう！我が家のみそ汁どのくらい？」

4/18(木) 午前10時～正午 町田市民フォーラム3階 テスト室

「PFAS(ピーファス)による汚染を知る～海産物からも検出～」

4/19(金) 午後1時～午後3時 町田市民フォーラム3階 第2学習室

【お申込み先】町田市イベントダイヤル 042-724-5656

【お問合せ先】町田市消費生活センター 042-725-8805